

2017 年 10 月 3～4 日

市民連合と立憲民主党、立憲民主党、希望の党

市民連合、枝野氏に 3 野党の候補一本化を要望

朝日新聞デジタル清水大輔 2017 年 10 月 4 日 01 時 16 分



市民連合世話

人の山口二郎・法政大教授（右から 4 人目）らから野党共闘を求める要望書を受け取る立憲民主党の枝野幸男代表（同 5 人目）＝3 日、東京・永田町の衆議院第一議員会館、清水大輔撮影

野党共闘を呼びかけてきた「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）の世話人、山口二郎・法政大教授らが 3 日午後、東京・永田町で立憲民主党の枝野幸男代表と会談し、衆院選小選挙区で候補者を一本化するように要望した。枝野氏は「皆さんの思いを受け止め、実現できるよう努力する」と応じた。

国会前デモをきっかけに結成された市民連合は、先月 26 日にも、民進、共産、自由、社民の 4 野党に対し、憲法 9 条改正反対や安全保障関連法の白紙撤回など 7 項目の政策要望を提出していた。しかし、その後、民進党は希望の党への合流、立憲民主党への参加、無所属に 3 分裂。自由党の小沢一郎代表も無所属での出馬の意向を示した。そのため、枝野氏に改めて要望書を手渡し、立憲民主党が共産、社民と連携するよう求めた。

選挙区によっては 3 野党と協議の上、民進出身などの無所属議員も応援するという。世話人の中野晃一・上智大教授は「（安保法制を肯定する）希望の党と共闘することはできない。（民進リベラル系が参加する）立憲民主党が立ち上がり、有権者に選択肢が示されたのはよかった」と語った。（清水大輔）

産経新聞 2017.10.3 22:13 更新

【衆院選】「市民連合」が改憲反対で立憲民主・枝野幸男代表と合意

安全保障関連法の廃止を掲げる市民グループ「市民連合」は 3 日、立憲民主党の枝野幸男代表と国会内で面会し、同法の白紙撤回や憲法改正反対の立場を掲げて衆院選に臨むよう要望した。枝野氏は「努力する。立憲主義や民主主義

など社会の基盤を壊している安倍晋三政権にストップをかけたい」と応じた。



「市民連合」の山口二郎法政大教授（右）から要望書を受け取る枝野幸男氏＝3 日午後、国会内

立憲民主、「比例全ブロックに候補」 設立メンバー 6 人
朝日新聞デジタル 2017 年 10 月 3 日 12 時 36 分

新党「立憲民主党」（枝野幸男代表）は 3 日午前、東京都選挙管理委員会に新党設立を届け出た。設立メンバーには民進党に離党届を提出した同党代表代行の枝野氏のほか、長妻昭元厚生労働相ら計 6 人が名を連ねた。その後、総務省が届け出書類を確認し、新党の設立届は受理された。

長妻氏が東京都庁を訪れ、届け出た。長妻氏は届け出後、記者団に「（民進出身の）我々の理念・政策を曲げずに総選挙に臨む器を作ることができた。比例区の全てのブロックで候補者を立てる」と述べた。設立が認められたことで、民進出身者を中心に新党への参加を本格的に呼びかける。

枝野氏は 2 日夜、「基本的には民進党の綱領や基本政策を（新党の）スタートでは踏襲する。選挙後、多くの仲間が生き残ってブラッシュアップしていく」と記者団に述べ、新党の政策作りを急ぐ考えを示した。

民進や共産党など野党 4 党との共闘を後押ししてきた「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）は 3 日午後、枝野氏と国会内で会談し、政策要望と衆院選での支援を申し入れる。

立憲民主党 枝野代表 安倍政権継続阻止に全力
NHK10 月 3 日 11 時 21 分



新党「立憲民主党」の枝野代表は、さいたま市で街頭演説し、「安倍政権のもとで民主主義は明らかに壊されている」と述べて、安倍政権の継続を阻止するため、衆議院選挙での躍進に向け、全力を挙げる考えを強調しました。

の中で、立憲民主党の枝野代表は「安倍政権のもとで、みんなの納得を得るプロセスを経て、ものを決めていく民主主義は明らかに壊されている。森友学園や加計学園の問題のような、露骨な権力の私物化と情報隠しを突きつけられながら勝たせてしまえば、事態はもっと悪質化する」と述べ、安倍政権の継続を阻止するため、衆議院選挙での躍進に向け、全力を挙げる考えを強調しました。

また枝野氏は、希望の党の候補者選定について「民進党出身の仲間が、理不尽に、納得できる根拠や基準がなく排除されている。希望の党の理念や政策は、これまで民進党が掲げてきた理念や政策とは違うと判断せざるをえない」と述べました。

「立憲民主党」設立を届け出 民進党出身者 6人参加

NHK10月3日 11時55分

枝野元官房長官を代表とする、新党「立憲民主党」は3日、総務大臣宛てに、枝野氏や菅元総理大臣、長妻元厚生労働大臣ら、合わせて6人の民進党出身者が参加するなどとした、設立の届け出を行いました。1週間後に公示される衆議院選挙は、自民・公明の与党と希望の党、それに、立憲民主党や共産党などの勢力が争う構図となります。

枝野元官房長官は2日、希望の党とは、理念や政策の方向性が異なるとして、新党「立憲民主党」を結成する意向を表明しました。

これを受けて、長妻元厚生労働大臣は、3日午前、東京都選挙管理委員会を通じて、総務大臣宛てに、「立憲民主党」の代表を枝野氏とし、枝野氏や長妻氏、それに菅元総理大臣ら合わせて6人の民進党出身者が参加するなどとした、設立の届け出を行いました。

この後、長妻氏は記者団に対し、「理念や政策を曲げずに衆議院選挙に臨む器を作ることができたのは感慨深い。全国で候補者を擁立し、市民連合を中心に政策的なすり合わせを行って、ほかの野党とどういう連携ができるのか追求したい」と述べました。

1週間後に公示される衆議院選挙は、自民・公明の与党と希望の党、それに、立憲民主党や共産党などの勢力が争う構図となります。

立憲民主党、新党設立を届け出 枝野氏ら参加呼びかけへ 朝日新聞デジタル 2017年10月3日 10時27分

新党「立憲民主党」（代表・枝野幸男元官房長官）は3日午前、東京都選管に新党の設立を届け出た。設立メンバーには枝野氏のほか、長妻昭元厚生労働相らが名を連ねた。総務省が届け出書類に不備がないかを確認し、同日中に設立が認められる見通しだ。

3日午前、長妻氏が東京都庁を訪れ、新党設立を届け出た。設立が認められれば、枝野氏らは民進党出身者らに新党への参加を本格的に呼びかけるが、規模によっては選挙

戦の構図に影響を与える可能性もある。

枝野氏は2日夜、「いま、最終的に立ち上がりの綱領を仲間と検討しているが、基本的には民進党の綱領や基本政策をスタートにおいては踏襲する。選挙後、多くの仲間が生き残ってブラッシュアップしていく」と記者団に述べた。

共産、枝野氏対抗馬取り下げ＝立憲民主と連携加速へ【17衆院選】

共産党（志位和夫委員長）と立憲民主党（枝野幸男代表）は3日、衆院選に向けた連携強化に乗り出した。志位氏は、枝野氏が立候補する埼玉5区で共産候補を自主的に取り下げたと発表。枝野氏も共闘体制の再構築を急ぐ考えだ。

共産党は従来、野党候補を一本化する場合、一方的な取り下げを否定してきた。枝野氏の選挙区での今回の対応に関し、志位氏は「野党共闘を進める上での連帯のメッセージだ」と記者団に説明した。

志位氏は3日の党第2回中央委員会総会で、安全保障関連法廃止が野党共闘の「一丁目一番地」と強調。「共闘の原点と大義に立ち返って行動する方々とは、協力、連携を追求していく」と表明した。民進党から立憲民主党に加わった長妻昭氏らの選挙区でも一本化を調整するとみられる。

枝野氏は3日、安保法に反対する団体「市民連合」メンバーと面会。(1)安倍政権が進める憲法9条改正反対(2)安保法の白紙撤回などを求める要望書を受け取った。この後、東京都内で街頭演説し、「ルールなき権力は独裁だ。憲法に違反した法律は一日も早く変えなければならない」と訴えた。

立憲民主党は4日、東京都の小選挙区で立候補する十数人を発表する。民進党の高井崇志前衆院議員は3日、立憲民主党入りを表明。同党への移籍を目指す動きは各地で広がりがつつある。

◇立憲民主党メンバー

立憲民主党の主なメンバーは次の通り。(敬称略。丸数字は当選回数)

【前衆院議員】

枝野幸男(代表)＝埼玉5区(8)▽菅直人＝比例東京(12)▽赤松広隆＝愛知5区(9)▽近藤昭一＝愛知3区(7)▽長妻昭＝東京7区(6)▽阿部知子＝比例南関東(6)▽辻元清美＝大阪10区(6)▽初鹿明博＝比例東京(2)▽高井崇志＝比例中国(2)

【元衆院議員】

海江田万里(6)▽山内康一(3)▽山花郁夫(3)
(時事通信 2017/10/03-19:05)

産経新聞 2017.10.3 21:51 更新

【衆院解散】共産・志位和夫委員長「希望の党は自民党の援軍だ」 立憲民主党との候補一本化急ぐ

共産党は3日、党本部で第2回中央委員会総会(2中総)

を開き、志位和夫委員長は新党「希望の党」について「野党共闘を破壊し、自民党最大の援軍になった」と批判した。衆院選では希望の党の候補に対抗馬を立てる一方、枝野幸男元官房長官が代表を務める新党「立憲民主党」との候補者調整を急ぐ。

「希望の党は、安全保障法制の容認などで民進党出身者に屈服を迫り、野党共闘を破壊した。小池百合子東京都知事は自民党時代、安倍晋三首相とともに暴走政治を推進した張本人だ」

志位氏は2中総で、希望の党と小池氏を指弾した。共産党は、衆院選選挙区で民進、共産、自由、社民の4野党による候補者調整を進めてきたが、情勢は一変した。頼みの綱は、希望移籍組と決別した枝野氏らの立憲民主党だ。

志位氏は2中総で「共闘の原点と大義に立ち返って行動する方々とは経過や行きがかりを乗り越えて協力・連携を追求する」と宣言した。会合後は記者団に、枝野氏が出馬予定の埼玉5区で、共産党候補を取り下げる方針を明らかにするなど「反自民・反希望」票結集に向けた態勢づくりを急いでいる。

立憲民主、合流相次ぐ 50人以上の見方も

共同通信 2017/10/3 22:33



新党「立憲民主党」の設立を届け出て、取材に答える長妻元厚労相＝3日午前、東京都庁

枝野幸男元官房長官が代表を務める立憲民主党は3日、東京都選挙管理委員会を通じて総務相に新党設立を届け、受理された。民進党からは、新たに辻元清美、近藤昭一両前衆院議員が参加を表明するなど、合流の動きが相次いだ。50人以上の候補者が擁立されとの見方もある。枝野氏は市民団体との会合で「自分たちの声を代弁する政党がない」と思い、結党した。安倍政権にストップをかけたい」と強調した。

立憲民主党に加わった長妻昭元厚生労働相は「仲間を増やし、勝利を目指して前に進む」と都庁で記者団に述べた。共産党との選挙協力を進め、全国規模での擁立を目指す構えだ。

枝野新党「理念譲れぬ」 「立憲民主党」結党

東京新聞 2017年10月3日 朝刊

「立憲主義、民主主義を守る。理念、政策は譲れない」
一。民進党の枝野幸男代表代行は二日、東京都内で開いた「立憲民主党」の結党会見で、小池百合子都知事が率いる

「希望の党」とのスタンスの違いを強調した。首都圏では態度を保留していた閣僚経験者らが次々と参加を表明。ただ民進党の分裂が決定的となり、有権者からは期待と冷ややかな反応が入り交じった。

百人以上の報道陣が詰め掛けた東京都内のホテル。枝野代表代行はやや高揚した声で『希望の党』の理念や政策は私たちと異なる」「安倍晋三首相の掲げる九条改憲は許されない」と語った。

「民主、民進党で積み上げてきた理念、政策を自信を持って訴えていく」とも強調。希望の党との合流に進み、たもとを分かつことになる前原誠司代表らに対し本流意識をのぞかせた。

質疑では、リベラル系前職の「排除」を進める希望の党の小池代表についての質問が続いた。枝野代表代行は明確な批判は避けながらも「こういった結果になったことは大変残念」「残念なプロセス」と繰り返し、悔しさをにじませた。

党代表選後、わずか一カ月での分裂については「この状況を喜んでいたらおかしい。一瞬天井を仰ぎつつ「新たな出発をすることは大きな可能性があり、ピンチはチャンスと受け止めている」と話した。

これを受けて、前職らは相次いで態度を明らかにした。菅直人元首相（東京18区）は東京都武蔵野市内で街頭演説し「リベラルの旗をしっかりと掲げて戦う」と立憲民主党への参加を宣言。元厚生労働相の長妻昭選対委員長（同7区）や海江田万里元民主党代表（同1区）も取材に応じ「小池氏には賛同できない」などと合流を表明した。

新人や元職も参加の意向を示した。新人の松尾明弘さん（同2区）や北條（きたじょう）智彦さん（同13区）らは「中道とリベラルを包み込む政党が必要だ」。元職の生方（うぶかた）幸夫さん（千葉6区）は取材に「全員が希望の公認を得るなど、できないことが分かっている話をしたのは」と前原代表への恨み節も漏れた。

一方、野田佳彦前首相（千葉4区）はこの日、報道陣に「僕はリベラルというくくりではない。穏健な保守」と無所属で臨む立場を説明し、江田憲司前代表代行（神奈川8区）も記者会見で「しがらみない立場から選挙戦を戦う」と新党には合流しないと明言。立憲民主党の広がりには不透明さも漂っている。（荘加卓嗣、鈴木貴彦、中山岳、福田真悟）

◆有権者は...

「立憲民主党」の結党について、東京都内で有権者に聞いたところ、評価は分かれた。北区の無職湯本勲さん（73）は「野党として、堂々と政策論争するのはいいことだと思う。人気の党にすり寄りよりはいい」と評価。武蔵野市の会社員河田誠さん（44）は「期待したい部分もあるが規模が民進より小さくなるし、野党は足並みがそろっていない。得するのは自民党ではないか」と指摘した。

新宿区の会社員東良子さん（70）も「希望の党が今後どうなるか分からない。枝野さんが新党を立ち上げるのは分かる」としつつ「多勢に無勢で、安倍さんを倒すのは難しいのでは」と話した。板橋区の会社員高野雅俊さん（30）は「（考え方が）正反対の『希望』に行くと言っていたのに、今度は入れなかったから新党をつくるようで、打算的にしか見えない」と突き放した。（山田祐一郎、飯田克志、中村真暁）

理念明確、古くさい、お堅い... 「立憲民主党」名前の印象は

東京新聞 2017 年 10 月 3 日 夕刊

「立憲民主党」のネーミングに対し、識者からは「分かりやすい」と評価する声上がる一方、「古くさい」「堅い」との意見も聞かれた。

「立憲主義を守るという方向性や旧民主党の原点に戻ろうとの理念が明確になり、有権者に分かりやすい」と評価するのは、独協大の右崎（うざき）正博名誉教授（憲法）。新党の結成には「保守系の自民とも希望とも相いれない人たちの大きな選択肢になるのは間違いない」とみる。

民進党出身者の公認を巡っては、希望の代表を務める小池百合子東京都知事が安全保障政策や憲法観で絞り込む考えを表明。枝野氏らリベラル系は小池氏の「排除の論理」に反発を強めていた。

しかし、右崎名誉教授は今回のこうした民進党内の動揺を前向きに捉えている。「これまで保守勢力とリベラル勢力の間で対立しながら、主張の違いを棚上げしてきたため『野合』との批判もついて回ったが、これで整理された」と語った。

政治アナリストの伊藤惇夫氏は「目指す方向性を示しており、政党名としてはふさわしい」とする一方、近年は「希望」や「こころ」など政党名にも“ソフト路線”が顕著だとし「古くさいという印象がある」とも。

コラムニストの辛酸なめ子さんは「一度は政権を取り、多くの有権者に慣れ親しまれてきたこともあり『民主党』という名称を残したのでは」と指摘。新たに加わった「立憲」という言葉については「頭は良さそうだけど、お堅いイメージがある。一般にはちょっと違和感があるかもしれない」と語った。

共産 志位委員長「立憲民主党」を歓迎 連携協議へ

NHK10月3日 15時17分

共産党の志位委員長は党本部で講演し、枝野元官房長官らが新党「立憲民主党」を結成したことについて、安全保障関連法に反対する立場から歓迎したいとして、衆議院選挙に向けて連携を協議する考えを示しました。

共産党の志位委員長は、衆議院選挙について、『「自公対希望」というのは、全く偽りの対決構図で、希望の党が自民

党の補完勢力であることは明かだ。本当の対決構図が『自公と補完勢力対市民と野党の共闘』であることに、いささかも変わりはなく、むしろ、一層鋭い形で、構図が浮き彫りになっている」と述べました。



そのうえで志位氏は、枝野元官房長官らが新党「立憲民主党」を結成したことについて、「安保法制反対を貫こうという流れからの動きを心から歓迎する。野党共闘の原点と大義に立ち返って行動する人たちとの協力や連携を追求していきたい」と述べました。

共産党は、衆議院選挙に向けて立憲民主党との連携を強化するため、3日の常任幹部会で、立憲民主党の枝野代表が立候補を予定している衆議院埼玉5区への公認候補の擁立を取り下げることを決めました。

また、共産党の志位委員長は記者会見で「民進党から希望の党に合流した人たちは、これまでの『安保法制廃止』という旗を降ろして容認に変わるという点で、有権者に対し、自分たちの立場を説明できないという矛盾に陥っている」と述べました。

また、志位氏は、希望の党の代表を務める東京都の小池知事について「衆議院選挙に出ても、出なくても、どちらも裏切りになる。出た場合は、『都政を踏み台にした』という強い批判が出るだろうし、出ない場合でも、『本気で国政に取り組む決意があるのか』と問われ、どちらにしても批判は免れない」と述べました。

社民福島氏 改憲阻止で立憲民主党などと連携

NHK10月3日 15時21分



社民党の福島副党首は、国会内でNHKの取材に対し、憲法改正を阻止するため衆議院選挙に向けて枝野元官房長官らが結成した新党「立憲民主党」などと連携していく考えを示しました。

社民党の福島副党首は衆議院選挙について、「安倍総理大臣は選挙で勝てば、来年、憲法9条に加え、緊急事態条項を盛り込む『憲法改悪』をしようとする。これを阻止するのが社民党の使命だ」と述べました。

そのうえで福島氏は「希望の党は、憲法改正や安全保障関連法に賛成するなど、自民党の完全な補完勢力だ。立憲民主党や共産党と連携し、憲法改正阻止のためリベラル勢力がしっかり国会で議席を取れるよう頑張り抜きたい」と述べ、枝野元官房長官らが結成した新党「立憲民主党」などと連携していく考えを示しました。

キーナンバー2年 安保法の是非、再び問う

北海道新聞 10/03 13:05 更新



安保関連法の成立から2年を迎えた9月19日、札幌市内で開かれた反対集会。同法廃止を求める声は今もやまない

2015年9月に成立した集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法が、この選挙戦で再び注目を集めている。自民党や同法への賛成を踏み絵とする新党「希望の党」とは対立する結集軸として2日、民進党の枝野幸男代表代行が新党結成を表明、同法を違憲と断じた。成立から2年＝キーナンバー＝を経てなお廃止を求める声がやまない安保関連法。反対を訴え続けた道内の市民団体や憲法学者は「改めて是非を問う機会に」と期待する。

「これで、マスコミでも安保関連法の露出が増えるんじゃないか」。北海道平和運動フォーラムの佐藤環樹事務局長（52）は2日午後、札幌市中央区の事務所で、枝野氏の記者会見のテレビ中継を見ながら期待感をにじませた。「安保関連法に反対する人々の、新しい『受け皿』ができた」

安保関連法は、安倍政権が14年7月に閣議決定した憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認や、他国軍への後方支援拡大などを盛り込み、15年9月に成立、16年3月に施行された。

密接な関係にある他国への攻撃で日本の存立が脅かされ、他に適当な手段がないなど「武力行使の新3要件」を満たせば、集団的自衛権の行使が可能となる。国連平和維持活動（PKO）では、他国部隊などを助ける「駆けつけ警護」などもできるようになった。

【続きあり】

<衆院選東北>激流（下） 共闘の分断／リベラルに新たな箱舟

河北新報 2017年10月03日 火曜日

「排除の論理」に追い詰められたリベラル派の残党が、

反撃の旗を掲げた。

<敵意にじます>

「民主主義が脅かされ、立憲主義が破壊されている。国民の生活と安心、立憲主義を守る」。2日夕、新党「立憲民主党」の設立を表明した民進党代表代行の枝野幸男は、希望の党への敵意をにじませた。



昨年の参院

選で共闘した野党（左上）と、憲法9条改正に反対する集会（右上）のコラージュ。下は民進、共産両党幹部の会談

民進代表前原誠司が、東京都知事の小池百合子率いる希望との合流方針を表明してから、わずか4日。小池が巻き起こした熱風に、野党共闘と民進の結束はもろくも分断された。

予兆はあった。憲法9条改正と安全保障関連法を容認し、保守色を鮮明にする小池。9月29日には、民進出身者のうち、政策が一致しない公認希望者を合流させないと明言した。

改憲と安保に反対する民進左派に踏み絵を迫り、安倍1強と激突する「戦艦」からリベラル勢力を一掃する狙いが見え隠れする。

生殺与奪を小池に握られて漂流する仲間を救うため、枝野は新たな箱舟をこぎ出した。「希望の理念や政策は私たちが積み重ね、目指す方向性とは異なる。政治家として譲ってはならない筋だ」と強調した。

宮城2区で再起を狙う民進系元議員鎌田さゆり（52）は、安保法制反対などを掲げる市民団体と行動を共にし、希望と自身の政治理念の隔たりに揺さぶられていた。「リベラルの旗が途切れず良かった。有権者に選択肢を示すことができる」と枝野新党を歓迎、合流も視野に入れる。

<共産 仁義貫く>

新党と距離を置き、背水の陣で1人、戦いに臨む動きも全国で相次ぐ。

「無所属で出ることにしました。よろしくお願いします」。2日早朝、共産党宮城県委員長中島康博の携帯電話が鳴った。元民進代表代行で、宮城5区に立候補を予定する安住淳（55）からだった。

共産は1日、宮城6選挙区のうち、5区の公認候補擁立を見送った。民進は安住を含む候補予定者5人の公認申請

を希望に提出する方針を示していたが、中島は野党共闘に尽力してきた安住への仁義を貫いた。

昨年の参院選で、宮城の民進、共産、社民3党は全国に先駆けて共闘を結び、勝利した。安住が「宮城方式」と名付けた選挙協力は、今年7月の仙台市長選でも力を発揮した。

安住は2日午後、石巻市で記者会見し、無所属での立候補を正式表明した。中島は「前向きに支援を考える」と言う。消えかけた共闘の火は、かすかにともり続ける。

「バラバラに戦っても自民を利するだけだ」とジレンマを抱えながら警告を発する安住。民進「解体」の行き先と、希望を軸にした対抗勢力の構図がいまだ見えない中、衆院選は10日の公示まで1週間に迫った。(敬称略)

<衆院選東北>激流(上) 自民の誤算／突風 現職閣僚も危機感

河北新報 2017年10月01日 日曜日



氣勢を上げ

る安倍首相(右上)と、支持固めに奔走する宮城県内の立候補予定者(右下)のコラージュ。左は国会議事堂拡大写真

急転直下の衆院選(22日投開票)は公示まで10日を切った。1強体制の維持をもくろむ安倍政権に対し、民進党をのみ込もうとする小池新党が真っ向から勝負を挑む。与野党が絡み合う再編劇と、加速する攻防の激流。東北各地の前哨戦を追う。(衆院選取材班)

突如、巻き起こった風が現職閣僚の不安をかき立てる。

衆院解散翌日の9月29日。いわき市で後援会の緊急集会を開いた自民党前議員で福島5区から立つ復興相吉野正芳(69)は「地方でも都会と同じ大風が吹く。大嵐になる前提で戦わないと大変なことになる」と危機感をあらわにした。

昨年夏の参院選福島選挙区で、4選を期した地元選出の現職閣僚(当時)が野党統一候補との一騎打ちに敗れた。6県で1勝5敗と惨敗した東北の自民は、上昇気流をつかめないまま、事実上の選挙戦に入った。

首相安倍晋三は「国難突破」を掲げ、総選挙を仕掛けた。迷走する民進党、準備不足の新党を横目に、議席を減らしてでも短期決戦で押し切るという目算は、東京都知事小池

百合子が希望の党代表に就いた25日に狂い始めた。

<何を訴えれば>

首相は1年半後の消費税増収分の使い道の変更、北朝鮮への圧力路線などについて国民の信を問うと強調したが、臨時国会冒頭の解散は森友、加計(かけ)学園問題封じとのそしりを免れず、野党から「大義なき解散」と攻撃を受ける。

「そもそも目玉の政策がない。有権者に何を訴えればいいのか」「支持者に選挙の理由を明確に説明できない」。宮城県内の自民関係者からも、恨み節にも似た声が漏れる。

希望の参戦と民進の合流で、「自公対希望」の様相が一気に強まる。新党の勢いを前に、与党側は1強の看板に依存した「安倍政治」そのものを問われ、守勢を強いられる。

岩手2区の自民前議員で五輪相の鈴木俊一(64)は、県の沿岸南部を中心とした7市町が編入された新たな区割りで戦う。東日本大震災で甚大な被害を受け、今も多くの被災者が仮設住宅で暮らす地域だ。

2区の支部会合を30日に釜石市で開いた鈴木は「希望のブームは今がピークだ」と警戒しながらも、「足元の選挙だけを考えている党の不透明さに有権者はいずれ気付くはずだ」と強がってみせた。

<なぜ今なのか>

比例東北で立候補を予定する公明党前議員の党幹事長井上義久(70)は29日、仙台市内であった党県議の会合で、新党の準備不足を指摘し「国民の生活を守るという政権に課せられた最大の使命を果たせるのは自公しかない」と強調した。

安倍が「国難」とした緊迫する北朝鮮情勢など安全保障問題に対応するため、宮城6区に立つ自民前議員の防衛相小野寺五典(57)は、選挙期間中も東京都内にとどまり、野党からの「政治空白」との批判をかわす役割を負う。

8月の内閣改造で入閣して以降、一度も選挙区入りしていない。候補者不在の選挙戦を前に、地元の党関係者は「解散は総理の専権事項だが、本音で言えば唐突。なぜ今なのか」と戸惑いを隠せずにいる。

(敬称略)

産経新聞 2017.10.3 14:57 更新

【衆院選】民進党OB会は3分裂の希望・立憲民主・無所属を問わず支援へ 藤井裕久氏「安倍晋三首相をつぶすためだ」

民進党は3日、国会議員経験者でつくる「OB・OG会」役員会を党本部で開いた。政界を引退した藤井裕久元財務相、興石東前参院副議長らが前原誠司代表と会談し、OB会は10日公示の衆院選で、新党「希望の党」、「立憲民主党」、無所属を問わず民進党出身者を支援する方針で合意した。



OB会后、囲み取材に応

じる藤井裕久氏＝3日午後、東京都千代田区の民進党本部（佐藤徳昭撮影）

藤井氏は役員会後、「党は3つに分かれたが、皆を応援する。安倍（晋三首相）をつぶすためだ。反安倍が一番大事なことだ」と記者団に語った。民進党出身者が競合する選挙区への対応については明言を避けた。

民進分裂「全て想定内」＝前原氏【17衆院選】



希望の党の第1次公認候補が発表された後、取材に応じる民進党の前原誠司代表＝3日午後、東京・永田町

民進党の前原誠司代表は3日、枝野幸男元官房長官が立憲民主党を旗揚げし、結果的に民進党が希望の党と立憲民主党に分裂したことについて「全てが想定内だ。政権交代可能な状況をつくらないといけない。自分の判断は正しかったと思っている」と強調した。民進党本部で記者団に語った。

前原氏は「枝野氏とは24年間、全て同じ党で過ごしてきた。初めて別れることになり、残念だ」とも述べた。

希望の党が第1次公認候補を発表したことに関しては「大変良かった。しっかり二大政党制の一翼として、自公に対峙（たいじ）できる陣容を整えたい」と語った。（時事通信 2017/10/03-19:58）

民進分裂、立憲民主を生んだ前原氏の誤算 野党細分化へ朝日新聞デジタル 2017年10月3日 07時03分

民進党が分裂した。小池百合子・東京都知事率いる新党「希望の党」に合流することで一致して安倍政権を倒す、と訴えた前原誠司・民進代表の思惑が外れた。民進側に「宗旨替え」を迫る小池氏への反発が野党を合流ではなく、細分化の方向に向かわせている。

枝野新党を誕生させたのは、枝野氏と先月の民進代表選を争ったばかりの前原氏だ。

党内で「保守対リベラルの対決」と受け止められた代表

選は、保守勢力との再編に前向きな前原氏と、再編論に反対姿勢を取る枝野氏という構図だった。とはいえ、すぐに再編を進める意図はなかった。



枝野新党、小池新党、無所属に分かれる民進幹部らの動向

目算が狂ったのは、代表就任後の幹事長人事。若手で次世代のリーダー候補と目された山尾志桜里前衆院議員を登用することで党勢回復につなげるねらいが、山尾氏の男性との交際問題を週刊誌に報じられ、断念。その後も離党ドミノが止まらない現状を許した。

行き詰まり感が漂うなかで安倍晋三首相の衆院解散方針が伝わり、持論の再編を小池氏に託した。衆院解散が迫り、政策のすりあわせや公認問題を詰めないまま小池氏と「合意」。受け入れる側の小池氏に主導権を渡す形となり、「排除の論理」を許す事態を招いた。党内では「前原氏はだまされた」との受け止めが大勢だ。

小池氏サイドにも不安が広がる…

野党 態勢構築急ぐ 与党 政権担当能力アピール

NHK10月4日 4時51分

衆議院選挙の公示を来週10日に控え、希望の党が第1次公認候補192人の擁立を発表し、立憲民主党が正式に発足するなど、野党側は態勢の構築を急いでいます。これに対し、候補者の擁立をほぼ終えている与党側は、政策議論を通じて政権担当能力をアピールしたい考えで、今後、安全保障関連法の運用も含めた北朝鮮への対応や、消費税率引き上げの是非などをめぐる論戦が活発化するものとみられます。

希望の党は、衆議院選挙の第1次公認候補として、100人を超える民進党出身者のほか、自由党出身者も含めた、192人の擁立を決定しました。

この中では、無所属で立候補する意向を表明している野田前総理大臣らの選挙区には候補者を擁立しない一方、立憲民主党の代表を務める枝野元官房長官らの選挙区には対立候補を擁立し、同じ民進党出身者でも異なる対応となっています。

希望の党は、今後も追加の公認を進め、過半数となる233人以上の候補者を擁立したい考えです。

また、希望の党との間で、大阪と東京の選挙区での候補者の競合を避けるなど選挙協力を進めている日本維新の会は、大阪などを中心に勢力の拡大を目指す方針です。

一方、枝野氏ら6人の民進党出身者は、希望の党と理念や政策の方向性が異なるとして立憲民主党を正式に設立し、枝野氏は、安全保障関連法の廃止を訴える市民団体のメンバーと会談して、安全保障関連法を前提とした憲法改正への反対を訴えていくことを確認しました。

さらに共産党や社民党は、立憲民主党との連携に向けた協議を進めたい考えで、共産党は、早速、枝野氏が立候補を予定している選挙区への公認候補の擁立を取り下げるなど、野党側は態勢の構築を急いでいます。

これに対し、自民・公明両党は、すでに大半の選挙区で候補者の擁立を終えていて、安倍総理大臣や山口代表らは、連日、街頭演説を行い、安全保障関連法に基づいてアメリカと緊密に連携し北朝鮮問題に対応していくことや、消費税の使いみちを見直し、子育て世帯へ投資を集中させることなどを訴えています。

また、日本のこころも、「自民党と理念・政策はおおむね同じだ」として、自民党との連携を強化したい考えです。

自民・公明両党は、政策論議を通じて、政権担当能力をアピールし、政権の継続に支持を訴えたい考えで、今後、安全保障関連法の運用も含めた北朝鮮への対応や、消費税率の引き上げの是非、それに原発政策などをめぐる論戦が活発化するものとみられます。

連合、衆院選で特定政党支持せず 個別支援、異例の対応
共同通信 2017/10/3 19:10



地方連合会の代表者会議を終え、記者の質問に答える連合の神津里季生会長＝3日午後、東京都千代田区

連合の神津里季生会長は3日、都道府県の地方連合会の代表者を集めた東京都内での会議で、衆院選では希望の党や立憲民主党など特定の政党を支持せず、既に連合が推薦を決めている民進党出身などの候補者を個別に支援する方針を明らかにした。連合によると、特定政党の支持を表明しないまま国政選挙に臨むのは異例という。

神津会長は会議後、報道陣の取材に応じ「希望の党も立憲民主党もまだできたばかりで、私どもとどういう形で認識を一致できるか定かではない。党を丸ごと応援するという決定はしない」と述べた。

比例代表は、産業別労組や地方連合会など傘下組織ごとに判断するとの考えを示した。

連合 特定政党を支援せず 個別に候補者を支援

NHK10月3日 18時51分

民進党の最大の支持団体である連合は、衆議院選挙への対応について、民進党が分裂したことを踏まえ、特定の政党の支援を見送るとともに、連合の掲げる政策と考え方が一致すれば、公認を受けた政党を問わず、個別に候補者を支援する方針を固めました。

衆議院選挙の公示を1週間後に控え、連合は3日、幹部が選挙への対応を協議しました。

その結果、民進党が、希望の党と新党「立憲民主党」に分裂して、これまで支援してきた各候補者が、どの政党から立候補するかが明確ではない状態では、特定の政党との間で政策協定を結ぶことはできないという認識で一致しました。

このため、連合は、今回の選挙では特定の政党の支援を見送るとともに、「働くことを軸とする安心社会の実現」など、連合の掲げる政策と考え方が一致すれば、公認を受けた政党を問わず、個別に候補者を支援する方針を固めました。また、比例代表への対応については、連合の地方組織や傘下の労働組合が、地域の実情に応じて活動を展開していくことになりました。

連合は、5日、東京都内で臨時の中央執行委員会を開き、こうした方針を正式に決定することにしています。

産経新聞 2017.10.3 19:16 更新

【衆院選】「政策本位で選んで」と榊原定経経団連会長 劇場型やポピュリズムを牽制



会見する経団連の榊原

定征会長＝3日、札幌市（平尾孝撮影）

経団連の榊原定征会長は3日、札幌市内で開かれた北海道経済連合会との懇談会後に会見し、衆院選挙について「ムードや劇場型といったものではなく、政策本位で選んでほしい」と訴え、小池百合子都知事が率いる希望の党の動きを牽制した。

榊原氏は「平成21年の総選挙は劇場型とか、ポピュリズム（大衆迎合）的な動きもあって、民主党政権が誕生したが、その3年4カ月、政治は混乱状態、外交が破壊され、経済は低迷した」と語り、「5年前の苦い経験を繰り返してはならない」と強調した。その上で「重要政策課題が山積する中、安倍政権の安定的基盤確保が達成できることを期待する」と語った。

北海道経済連合会の高橋賢友会長も「北海道の人口減少をいかに解決していくのが重要で、安倍政権の政策に期待しており、（政権の）長期安定を求めたい」との認識を示した。

希望の公約案、9条は「議論する」 改憲、原発ゼロも

朝日新聞デジタル 2017年10月4日 01時06分

希望の党（代表＝小池百合子・東京都知事）が衆院選で掲げる公約案が3日、分かった。九つの柱を掲げ、憲法改正では、「知る権利」を定めるとしたほか、9条については「議論する」と記す。個別政策として「森友・加計問題の文書の公開」「お友達厚遇じゃない特区を活用した規制緩和」を盛り込み、安倍政権との違いを打ち出す方針という。

党関係者によると、公約案は小池氏を中心に最終調整し、4日にも公表する方針。柱は、憲法改正のほか、消費増税の凍結▽国会議員の定数と歳費の削減▽経済政策▽原発ゼロ▽教育福祉▽ダイバーシティ（多様性）社会の実現▽地方分権▽危機管理の9項目。

原発ゼロについては「2030年まで」と目標年を定め、再生可能エネルギーの割合を30%まで増やすとする。危機管理では、集団的自衛権の限定的な行使のあり方について検討するとした。ダイバーシティ社会の実現では、性的少数者（LGBT）に対する差別撤廃の法制化を打ち出す。地方分権の一つとして、道州制も掲げる。

「希望の党」の政策協定書全文【17衆院選】

希望の党が公認候補と取り交わした政策協定書の全文は次の通り。

希望の党 小池百合子代表殿
政策協定書

私は、希望の党の公認を受けて衆院選に立候補するに当たり、下記事項を順守すること、当选した場合には希望の党の所属する会派に所属して国会活動を行うこと、希望の党党员として政治活動を行うことを誓います。

記

1、希望の党の綱領を支持し、「寛容な改革保守政党」を目指すこと。

2、現下の厳しい国際情勢に鑑み、現行の安全保障法制については、憲法にのっとり適切に運用する。その上で不断の見直しを行い、現実的な安全保障政策を支持する。

3、税金の有効活用（ワイズ・スペンディング）を徹底し、国民が納める税の恩恵が全ての国民に行き渡る仕組みを強化すること。

4、憲法改正を支持し、憲法改正論議を幅広く進めること。

5、国民に負担を求める前に国会議員が身を切る改革を断行する必要があること、および、いわゆる景気弾力条項の趣旨を踏まえて、2019年10月の消費税10%への引き上げを凍結すること。

6、外国人に対する地方参政権の付与に反対すること。

7、政党支部において企業団体献金を受け取らないこと。

8、希望の党の公約を順守すること。

9、希望の党の公認候補となるに当たり、党に資金提供をすること。

10、選挙期間が終了するまで、希望の党が選挙協力の協定を交わしている政党への批判は一切行わないこと。

年 月 日

第48回衆院選 立候補予定者（署名欄）
（時事通信 2017/10/03-18:07）

9条改憲 議論避けず 小池氏インタビュー

東京新聞 2017年10月3日 朝刊

衆院選を前に、政策などについて話す希望の党代表の小池都知事＝2日午後、東京都新宿区で



希望の党代表の小池百合子東京都知事は二日、都内で本紙のインタビューに応じ、衆院選の争点の一つである九条改憲について「議論は避けずにやっていきたい」と語った。党の理念に掲げた「原発ゼロ」に関しては「できない、と

言うより、どうやって可能にするかを考えたい」と実現に意欲を示した。

小池氏は、九条について「ずっと護憲か否かで思考停止が続いてきた。護憲や憲法改正が目的化することは間違っている」と指摘。九条改憲を優先する考えはないが、議論は拒まないとの姿勢だ。改憲については「地方自治の問題などは憲法第八章にわずかししか触れられていない。幅広く議論するべきだ」と話した。

原発政策を巡っては、二〇一一年の東京電力福島第一原発事故後、原子力以外の火力発電などで国内の電力需要をほぼ賄っている現状を踏まえ「原発ゼロは既に実現してきた」と強調。原発に加え、老朽化した火力発電所などにも依存しないエネルギー政策を模索する考えも示した。

犯罪の合意を処罰する「共謀罪」法については「賛成だ。日本の安全安心を守るには、シビアに考えるべきだ」と話した。

安倍晋三首相が消費税を一九年十月に引き上げ、増収分のうち約二兆円の使い道を変え、国の借金返済から教育無償化などに充てるとした点には「ここだけをテーマにするのは間違っている。増大する社会保障全体を議論するべきだ。まだ二年もある。立ち止まるべきだ」と訴えた。（大野暢子、木原育子）

埼玉新聞 2017 年 10 月 3 日(火)

＜衆院選＞埼玉では希望と維新「ガチンコ勝負」 維新県総支部代表、候補者調整する考えなく

日本維新の会埼玉県総支部の藤巻健史代表（参院比例）は2日、県庁で記者会見し、「希望の党とは政策が似ているが、実績があるのは私たちであり、真のしらがみのない政治をしたい」と訴えた。

県内では現時点で1、4、14、15区に候補者を擁立する考えで、希望の党と競合する区が出てくる可能性がある。両党は東京と大阪で選挙協力することで合意しているが、藤巻代表は「埼玉では希望の党とガチンコ勝負になる」と候補者を調整する考えはないことを示した。

希望の党の勢いについては、個人的な考えとして「東京はすごいかもしれないが、そんなに浸透しているのかなと。新しい党なので（有権者も）それなりに不安があるのではないかな。われわれには実績があるが、ひょんと出てきた党に有権者が（投票）するのかと思う」と話した。

自民公約、改憲を重点項目 第2次安倍政権後で初

東京新聞 2017 年 10 月 3 日 朝刊

自民党は二日、衆院選の公約を発表した。重点項目に「憲法改正」を盛り込んだ上で「自衛隊の明記、教育の無償化・充実強化、緊急事態対応、参議院の合区解消など四項目を中心に議論を踏まえ、初めての憲法改正を目指す」と明記した。二〇一二年十二月の第二次安倍政権発足以降の国政選挙で、同党が改憲を重点項目として前面に掲げたのは初

めて。（大杉はるか）

重点項目は（1）北朝鮮対応（2）アベノミクスの加速（3）生産性の向上（4）保育・教育の無償化（5）地方創生と災害復興加速（6）憲法改正一の六本柱とした。岸田文雄政調会長は記者会見で、改憲を重点項目とした狙いを「憲法の課題について、国民に関心をもってもらうことが重要。特に強調すべき政策に加えた」と説明した。改憲の具体的な条文案は示さなかった。

保育・幼児教育の無償化は、二〇年度までに三～五歳の全ての子どもを対象に「幼稚園・保育園の費用を無償化」、ゼロ～二歳は「低所得を対象に無償化」と記載。大学などの高等教育は「低所得家庭に限って無償化」としたが、対象世帯所得は明記しなかった。財源は一九年十月に税率を10%に引き上げる予定の消費税を充てる。

北朝鮮対応などの安全保障分野では、安全保障関連法の整備に関連し「邦人救出等の新任務が可能になったことを受け、態勢構築や能力向上を加速する」と書き込んだ。六本柱以外では、原発は「再稼働を進める」と明記した。

公明党、教育負担減を前面に 衆院選公約の全容判明
共同通信 2017/10/4 02:00

公明党がまとめた衆院選公約の全容が3日、判明した。私立高校授業料を実質無償化するなど「教育負担の軽減」を前面に掲げた。憲法改正を巡り、安倍晋三首相（自民党総裁）が提案した9条への自衛隊明記に関し「理解できない」と賛否を示さなかった。5日に発表する。

2014年の衆院選公約は自衛隊明記を「検討する」としており、慎重姿勢に転じた形だ。

消費税率を10%に引き上げた際の増収分を教育無償化に充てるとした首相の方針について「幼児教育から高等教育までの大胆な『教育の無償化』を目指す」と足並みをそろえた。

菅長官、憲法改正で希望との連携に含み「賛同なら対応」

朝日新聞デジタル 2017 年 10 月 3 日 11 時 51 分



記者会見で質問に答える菅

義偉官房長官＝3日午前、岩下毅撮影

菅義偉官房長官は3日午前の記者会見で、憲法改正議論で希望の党と連携する可能性を問われ、「政策を実現していくことが極めて重要だ。掲げる政策に賛同いただくのであれば、しっかり対応していく」と述べ、衆院選後の連携に

前向きな姿勢を示した。希望の党は、改憲議論を積極的に進める方針を掲げている。

一方、菅氏は「憲法問題（の議論）は衆参の中に（憲法）審査会があるので、まずそこでそれぞれの政党が憲法改正についての考えをまとめ、深く議論し、国民にご理解いただくこと」が重要だと強調した。

自民党衆院選公約に、憲法への自衛隊明記が盛り込まれたことについては「自民党は自主憲法制定が立党の精神であり、その必要性を訴えていくことは自然だ」と述べた。

在日系団体が希望の党に抗議 外国人に地方参政権反対で

朝日新聞デジタル編集委員・北野隆一 2017年10月3日 18時53分

希望の党が公認候補と結ぶ「政策協定書」に「外国人に対する地方参政権付与反対」の項目が盛り込まれたことに対し、在日韓国人団体「在日韓国青年会」（朴裕植（パクユシク）会長）は3日、強く抗議し、この項目の撤回を求める声明を発表した。

声明は、「希望の党が人権を阻害する政党であることが明らかになった。人権に関わる政策課題を党利党略で扱うことは許容されない。偏狭なナショナリズムやレイシズムを生む土壌となり、社会の安定と平和を脅かす」と批判した。

党代表の小池百合子・東京都知事が関東大震災朝鮮人犠牲者への追悼文を見送ったことにも触れ、「偏狭なナショナリズムをもつ公人。小池氏が現職の都知事であることに恐怖を感じる」とも記した。

1990年代以降、在日本大韓民国民団（韓国民団）や青年会など、在日韓国人らが永住外国人の地方参政権を求めてきたが、自民党を中心に反対が根強く、議論は進んでいない。小池氏は2003～14年の衆院選候補者に対する朝日新聞社と東京大学による共同調査で、一貫して外国人参政権に反対している。（編集委員・北野隆一）

「選別、こざかしい」小池氏を批判

琉球新報 2017年10月3日 14:43



インタビューに答える細川元首相＝東京都港区で2017

年10月2日、太田康男撮影

◇前原代表について「名も実も魂も取られてしまうのでは…」

細川護熙元首相は2日、毎日新聞のインタビューで、小池百合子東京都知事が代表を務める希望の党について「（安倍政権を倒す）倒幕が始まるのかと思っていたら、応仁の乱みたいにくちゃぐちゃになってきた。政権交代までいかなくとも、せめて自民党を大敗させて、安倍晋三首相の党総裁3選阻止まではいてもらわないか」と語った。小池氏が衆院選に立候補する可能性は「恐らくないだろう」とも述べた。

小池氏は日本新党結党以来、折に触れ、細川氏からアドバイスを受けてきた。希望の党の公認を巡り、リベラル勢力や首相経験者を選別することに「同志として小池氏を手助けしたいと考えてきたが、排除の論理を振り回し、戸惑っている。公認するのに踏み絵を踏ませるといのはなんともこざかしいやり方で『寛容な保守』の看板が泣く」と強く批判した。

同じく日本新党出身の前原誠司民進党代表については「名を捨て実を取ると言ったが、状況をみていると、名も実も魂も取られてしまうのではないかと心配になる」と述べた。

さらに自身が日本新党を結成したことを振り返り「政権交代という大目標に立ち向かうときは怒濤（どとう）のように攻め立てなければ成功しない」と、候補者擁立などで混迷する「小池の乱」に苦言を呈した。ただ、「首相を目指すのであれば、保守やリベラルにこだわらず、器量の大きい人でいてもらいたい」と、門下生への思いやりにもじませた。【鈴木琢磨】（毎日新聞）

衆院選の構図固まる 各党の準備加速へ

NHK10月3日 4時56分

衆議院選挙は、希望の党の代表を務める東京都の小池知事が過半数となる233人以上の候補者を擁立する方針を示したことで、自民・公明両党と希望の党の対決を軸とした政権選択選挙となることが鮮明となりました。

一方、民進党の枝野代表代行が新党「立憲民主党」の結成を表明し、共産党などと連携に向けた協議を進める見通しで、公示を1週間後に控え選挙戦の構図が固まり、各党の選挙準備が加速することになります。

希望の党は、衆議院選挙の候補者擁立に向けて、憲法にのっとり安全保障関連法を適切に運用することや、憲法改正を支持することなどを民進党出身者と確認するなど、最終的な調整を行っており、3日、第1次の公認候補を発表することにしています。

代表を務める東京都の小池知事は昨夜、今回の選挙で政権の獲得を目指すため、過半数となる233人以上の候補者を擁立したいという考えを表明し、今回の選挙は、自民・

公明両党と希望の党の対決を軸とした政権選択選挙となる
ことが鮮明となりました。

また、希望の党は日本維新の会と東京と大阪の小選挙区で
候補者の競合を避けるなど、選挙協力に向けた調整をして
いるほか、自由党は小沢代表が希望の党との連携を模索す
る一方、みずからは無所属での立候補を検討しています。
こうした中、民進党の枝野代表代行は、希望の党とは目指
してきた理念と政策の方向性が異なるとして、新党「立憲
民主党」を結成する意向を表明し、民進党は希望の党と枝
野氏の新党に分裂することになりました。

「立憲民主党」は3日、設立を届け出ることにしており、
これまでに民進党の菅元総理大臣や長妻選挙対策委員長が
正式に参加の意向を表明しています。

共産党や社民党は、「希望の党は自民党の補完勢力だ」など
と批判してきたことから枝野氏の新党結成を歓迎しており、
今後、政策が一致すれば、候補者の競合を避けるなど連携
に向けた協議が進められる見通しです。

一方、民進党内では野田前総理大臣や岡田元代表、安住前
代表代行らが希望の党とは考え方が異なるなどとして、無
所属で立候補することになっています。

これに対し、与党側は衆議院が解散された先月28日に続
き、2日も、安倍総理大臣と公明党の山口代表がそろって
街頭演説を行うなど、結束して野党側に対抗する考えです。
また、自民党は、北朝鮮の脅威から国民の生命と財産を守
り抜くことや消費税の使いみちを見直して子育て世帯へ投
資を集中させることなどを打ち出した政権公約を発表し、
政策を着実に実現して国民の生命と財産を守っていくため
には、安定した政権の継続が必要だと訴えていく方針です。
さらに、日本のここも自民党と連携する考えを示してい
ます。

今回の衆議院選挙は公示を1週間後に控え、自民・公明両
党と希望の党の対決を軸にして、枝野氏の新党や共産党な
ども争う構図が固まり、各党の選挙準備が加速することに
なります。

枝野、菅氏らに対抗馬＝目立つ「国替え」－希望1次公認 【17衆院選】

希望の党は3日に発表した衆院選1次公認で、立憲民主
党の枝野幸男代表や菅直人元首相らに対抗馬をぶつけた。
また、本来の地盤とは異なる選挙区からの「国替え」出馬
を余儀なくされたケースも目立つ。

1次公認候補計192人の内訳は、民進党からの合流組
が110人、希望枠で立てた候補が82人。希望枠には、
民進党をいち早く離れた細野豪志、松原仁両氏らのほか、
元自民党の福田峰之氏、元自由党の樋高剛氏らがあり、「寄
り合い所帯」の印象は拭えない。小池百合子代表（東京都
知事）に近い若狭勝前衆院議員が設立した政治塾の出身者
は26人だった。

希望は立憲民主党の枝野氏（埼玉5区）に弁護士の新人、
長妻昭元厚生労働相（東京7区）に熊本県議の新人をぶつ
けたほか、菅氏（東京18区）や赤松広隆元衆院副議長（愛
知5区）らにも対抗馬を立てた。枝野氏は民進党から希望
に合流した候補に対抗馬を立てない意向を示していたが、
これをよそに希望側は一方的に攻勢を掛けた形だ。

競合を避けるなどの理由で、国替えを強いられた候補も
多い。福田氏は自民党時代の地盤の神奈川8区を離れ、東
京5区へ移った。前回は比例代表近畿ブロックで当選した
元日本維新の会の小沢鋭仁氏は、地元の山梨県ではなく東
京25区から初出馬する。香川県が地盤の植松恵美子元参
院議員は東京6区、東京2区を地盤とする元職の大熊利昭
氏は茨城4区でそれぞれ国政復帰を目指す。

希望は維新の牙城である大阪では擁立を見送ったものの、
関西圏の京都府や兵庫県のほか、埼玉、神奈川両県、北海
道などで維新とぶつかる選挙区がある。

小池氏のお膝元の東京では、都政で協力関係にある公明
党の太田昭宏元国土交通相（東京12区）、旧日本新党時代
から親交のある自民党の鴨下一郎都連会長（同13区）へ
の対抗馬擁立を避けた。

一方、若狭氏らと候補者選定作業を進めている民進党の
玄葉光一郎総合選対本部長代行や大島敦幹事長は、1次公
認には入らなかった。（時事通信 2017/10/03-20:59）

希望の党の1次公認候補【17衆院選】

希望の党は3日、衆院選の1次公認候補192人を発表
した。内訳は選挙区191人、比例代表単独1人。候補者
は次の通り。（敬称略、前＝前職、元＝元職、新＝新人、☆
は民進党からの出馬を予定していた候補で、希望の党の設
立時のメンバーを除く）

〔選挙区〕

【北海道】2区 ☆松木謙公＝前▽4区 高橋美穂＝元
▽9区 ☆山岡達丸＝元

【青森】1区 ☆升田世喜男＝前▽2区 ☆工藤武司＝
新▽3区 ☆山内崇＝新

【岩手】1区 ☆階猛＝前▽2区 ☆畑浩治＝元

【宮城】1区 伊藤優太＝新▽3区 ☆一條芳弘＝新▽
4区 ☆坂東毅彦＝新

【秋田】1区 松浦大悟＝新▽2区 ☆緑川貴士＝新▽
3区 ☆村岡敏英＝前

【山形】1区 ☆荒井寛＝新▽2区 ☆近藤洋介＝前▽
3区 阿部寿一＝元

【福島】2区 ☆岡部光規＝新▽4区 ☆小熊慎司＝前
▽5区 ☆吉田泉＝前

【茨城】1区 ☆福島伸享＝前▽2区 ☆石津政雄＝元
▽3区 樋口舞＝新▽4区 大熊利昭＝元▽5区 ☆浅野
哲＝新▽6区 ☆青山大人＝新

【栃木】1区 柏倉祐司＝元▽3区 渡辺美由紀＝新▽

4区 ☆藤岡隆雄＝新▽5区 大豆生田実＝新

【群馬】1区 ☆宮崎岳志＝前▽2区 ☆石関貴史＝前▽4区 ☆不破弘樹＝新▽5区 猪口幸子＝新

【埼玉】1区 ☆武正公一＝前▽2区 ☆菅克己＝新▽3区 三輪麻美＝新▽4区 ☆吉田芳朝＝新▽5区 高木秀文＝新▽7区 ☆小宮山泰子＝前▽8区 ☆小野塚勝俊＝元▽9区 ☆杉村慎治＝新▽10区 ☆坂本祐之輔＝前▽11区 ☆三角創太＝新▽12区 ☆森田俊和＝新▽14区 鈴木義弘＝前▽15区 ☆高山智司＝元

【千葉】1区 ☆田嶋要＝前▽2区 竹ヶ原裕美子＝新▽3区 ☆櫛渕万里＝元▽5区 岡野純子＝新▽6区 遠藤宣彦＝元▽8区 ☆太田和美＝前▽9区 ☆奥野総一郎＝前▽10区 ☆谷田川元＝元▽11区 ☆多ヶ谷亮＝新▽12区 樋高剛＝元▽13区 水野智彦＝元

【東京】1区 松沢香＝新▽2区 鳩山太郎＝新▽3区 松原仁＝前▽4区 難波美智代＝新▽5区 福田峰之＝前▽6区 植松恵美子＝新▽7区 荒木章博＝新▽8区 木内孝胤＝前▽9区 高松智之＝新▽10区 若狭勝＝前▽11区 ししどちえ＝新▽14区 やはぎ麻子＝新▽15区 ☆柿沢未途＝前▽16区 田村謙治＝元▽17区 西田ちから＝新▽18区 ときた敦＝新▽19区 ささきりか＝新▽20区 鹿野晃＝新▽21区 長島昭久＝前▽22区 金ヶ崎絵美＝新▽23区 伊藤俊輔＝新▽24区 吉羽美華＝新▽25区 小沢鋭仁＝前

【神奈川】1区 長島一由＝元▽2区 橋本久美＝新▽3区 ☆勝又恒一郎＝元▽4区 風間法子＝新▽5区 吉岡憲史＝新▽7区 川野案＝新▽9区 笠浩史＝前▽10区 ☆市川佳子＝新▽12区 原輝雄＝新▽13区 ☆太栄志＝新▽14区 ☆本村賢太郎＝前▽15区 ☆乃木涼介＝新▽16区 後藤祐一＝前▽17区 ☆神山洋介＝前▽18区 ☆三村和也＝元

【富山】3区 柴田巧＝新

【石川】1区 ☆田中美絵子＝元▽2区 ☆柴田未来＝新▽3区 ☆近藤和也＝元

【福井】2区 ☆斉木武志＝元

【山梨】2区 井桁亮＝新

【長野】1区 ☆篠原孝＝前▽2区 ☆下条みつ＝元▽3区 ☆井出庸生＝前▽4区 ☆寺島義幸＝元▽5区 ☆中嶋康介＝新

【岐阜】3区 ☆阪口直人＝元▽4区 ☆今井雅人＝前▽5区 ☆阿知波吉信＝元

【静岡】1区 小池政就＝元▽2区 ☆松尾勉＝新▽3区 鈴木望＝元▽4区 ☆田中健＝新▽5区 細野豪志＝前▽6区 ☆渡辺周＝前▽8区 ☆源馬謙太郎＝新

【愛知】1区 佐藤夕子＝元▽2区 ☆古川元久＝前▽3区 余語冴耶香＝新▽4区 ☆牧義夫＝前▽5区 野々部尚昭＝新▽6区 ☆森本和義＝元▽9区 ☆岡本充功＝前▽10区 ☆安井美沙子＝新▽11区 ☆古本伸一郎＝

前▽13区 ☆大西健介＝前▽14区 ☆田中克典＝新▽15区 ☆関健一郎＝新

【三重】4区 ☆藤田大助＝元

【滋賀】2区 ☆田島一成＝前▽3区 ☆小川泰江＝新▽4区 ☆徳永久志＝新

【京都】1区 しまむら聖子＝新▽3区 ☆泉健太＝前▽4区 ☆北神圭朗＝前▽5区 井上一徳＝新▽6区 ☆山井和則＝前

【兵庫】1区 ☆井坂信彦＝前▽3区 ☆横畑和幸＝新▽4区 野口たけみつ＝新▽5区 ☆梶原康弘＝元▽6区 幾村奈応子＝新▽7区 ☆畠中光成＝元▽10区 柘植厚人＝新▽11区 ☆長安豊＝元▽12区 ☆池畑浩太郎＝新

【奈良】1区 ☆馬淵澄夫＝前▽2区 松本昌之＝新▽3区 ☆前川清成＝新

【和歌山】1区 ☆岸本周平＝前▽2区 ☆坂田隆徳＝新

【鳥取】2区 ☆湯原俊二＝元

【岡山】1区 蜂谷弘美＝新▽2区 ☆津村啓介＝前▽4区 ☆柚木道義＝前▽5区 樽井良和＝元

【広島】2区 ☆松本大輔＝元▽4区 上野寛治＝新▽5区 橋本琴絵＝新▽6区 佐藤公治＝元▽7区 ☆佐藤広典＝新

【山口】1区 ☆大内一也＝新▽4区 ☆藤田時雄＝新

【徳島】1区 ☆仁木博文＝元

【香川】1区 ☆小川淳也＝前▽2区 ☆玉木雄一郎＝前

【愛媛】1区 ☆富永喜代＝新▽2区 横山博幸＝前▽3区 ☆白石洋一＝元▽4区 桜内文城＝元

【高知】1区 ☆大石宗＝新

【福岡】1区 石井英俊＝新▽2区 ☆稲富修二＝元▽5区 ☆楠田大蔵＝元▽7区 ☆原圭助＝新▽9区 ☆緒方林太郎＝前▽10区 ☆城井崇＝元▽11区 村上智信＝新

【佐賀】1区 ☆原口一博＝前▽2区 ☆大串博志＝前

【長崎】1区 ☆西岡秀子＝新▽2区 ☆山口初實＝新▽3区 末次精一＝新▽4区 ☆宮島大典＝元

【熊本】1区 ☆松野頼久＝前

【大分】1区 ☆吉良州司＝前▽3区 浦野英樹＝新

【宮崎】1区 ☆道休誠一郎＝元

【鹿児島】2区 ☆斉藤佳代＝新▽3区 野間健＝前

〔比例代表〕

【東北】☆寺田学＝前

※希望の党の発表資料に基づき一部はひらがな表記。(時事通信 2017/10/03-21:54)

希望、192人を1次公認 民進予定者から110人
朝日新聞デジタル 2017年10月3日 23時44分

■希望の党が公認発表した小選挙区

小選挙区	希望の党	民進党
北海道1	松本謙公	松本謙公
北海道4	高橋美穂	本多平直
北海道9	山岡達丸	山岡達丸
青森1	升田世喜男	升田世喜男
青森2	工藤武司	工藤武司
青森3	山内崇	山内崇
岩手1	猪猛	猪猛
岩手2	畑浩治	畑浩治
宮城1	伊藤優太	岡本章子
宮城3	一條芳弘	一條芳弘
宮城4	坂東毅彦	坂東毅彦
秋田1	松浦大悟	寺田学
秋田2	緑川貴士	緑川貴士
秋田3	村岡敏英	村岡敏英
山形1	荒井寛	荒井寛
山形2	近藤洋介	近藤洋介
山形3	阿部寿一	
福島2	岡部光規	岡部光規
福島4	小原慎司	小原慎司
福島5	吉田泉	吉田泉
茨城1	福島伸享	福島伸享
茨城2	石津政雄	石津政雄
茨城3	樋口舞	安部一真
茨城4	大熊利昭	
茨城5	浅野哲	浅野哲
茨城6	青山大人	青山大人
栃木1	柏倉祐司	渡辺典喜
栃木3	渡辺みゆき	
栃木4	藤岡隆雄	藤岡隆雄
栃木5	大豆生田実	
群馬1	宮崎岳志	宮崎岳志
群馬2	石関貴史	石関貴史
群馬4	不破弘樹	不破弘樹
群馬5	いのくち幸子	
埼玉1	武正公一	武正公一
埼玉2	菅克己	菅克己
埼玉3	みわあさみ	山川百合子
埼玉4	吉田芳朝	吉田芳朝
埼玉5	高木ひでふみ	枝野幸男
埼玉7	小宮山泰子	小宮山泰子
埼玉8	小野塚勝俊	小野塚勝俊
埼玉9	杉村慎治	
埼玉10	坂本祐之輔	坂本祐之輔
埼玉11	三角創太	
埼玉12	森田俊和	森田俊和
埼玉14	鈴木義弘	
埼玉15	高山智司	高山智司
東京1	松沢香	海江田万里
東京2	鳩山太郎	松尾明弘
東京3	松原仁	
東京4	難波美智代	井戸正枝
東京5	福田峰之	手塚仁雄
東京6	植松恵美子	落合貴之
東京7	荒木章博	長妻昭
東京8	木内孝胤	吉田晴美
東京9	高松智之	浅野克彦
東京10	若狭勝	鈴木庸介
東京11	ししどちえ	前田順一郎
東京14	やはき麻子	清水啓史
東京15	柿沢未途	
東京16	田村謙治	初鹿明博
東京17	西田ちから	伊藤正樹
東京18	ときた敦	菅直人
東京19	ささきりか	
東京20	かのあきら	竹田光明
東京21	長島昭久	
東京22	金ヶ崎絵美	山花郁夫
東京23	伊藤しゅんすけ	瀬川万里
東京24	吉羽美華	高橋齊久
東京25	小沢鋭仁	山下容子

兵庫1	井坂信彦	井坂信彦
兵庫3	横畑和幸	横畑和幸
兵庫4	野口たけみつ	佐藤泰樹
兵庫5	梶原康弘	梶原康弘
兵庫6	いくむら奈子	桜井周
兵庫7	昌中光成	
兵庫10	つげあつひと	
兵庫11	長安たかし	
兵庫12	池畑浩太郎	池畑浩太郎
和歌山1	岸本周平	岸本周平
和歌山2	坂田隆徳	坂田隆徳
奈良1	馬淵澄夫	馬淵澄夫
奈良2	松本まさゆき	前川清成
奈良3	前川清成	森充央
鳥取2	湯原俊二	湯原俊二
岡山1	蜂谷弘美	高井崇志
岡山2	津村啓介	津村啓介
岡山4	柚木道義	柚木道義
岡山5	樽井良和	
広島2	松本大輔	松本大輔
広島4	上野かんじ	恵飛須圭二
広島5	橋本琴絵	
広島6	佐藤公治	
広島7	佐藤広典	佐藤広典
山口1	大内一也	大内一也
山口4	藤田時雄	藤田時雄
徳島1	仁木博文	仁木博文
香川1	小川淳也	小川淳也
香川2	玉木雄一郎	玉木雄一郎
愛媛1	富永喜代	富永喜代
愛媛2	横山博幸	
愛媛3	白石洋一	白石洋一
愛媛4	桜内文城	
高知1	大石宗	大石宗
福岡1	石井英俊	山本剛正
福岡2	稲宮修二	稲宮修二
福岡5	楠田大蔵	楠田大蔵
福岡7	原圭助	原圭助
福岡9	緒方林太郎	緒方林太郎
福岡10	城井崇	城井崇
福岡11	村上智信	
佐賀1	原口一博	原口一博
佐賀2	大串博志	大串博志
長崎1	西岡秀子	西岡秀子
長崎2	山口初實	山口初實
長崎3	末次精一	
長崎4	宮島大典	宮島大典
熊本1	松野頼久	松野頼久
大分1	吉良州司	吉良州司
大分3	浦野英樹	
宮崎1	道休誠一郎	道休誠一郎
鹿児島2	斎藤佳代	斎藤佳代
鹿児島3	野間健	

【注】「希望の党」は、3日に発表された希望の党公認の立候補予定者。「民進党」は、9月28日の衆院解散時に民進党公認で立候補を予定していた人たち。網掛けは「希望の党」と「民進党」が異なるか、「民進党」不在の選挙区。氏名の表記は基本的に希望の党の発表資料にもとづく

希望の党が公認発表した小選挙区（兵庫～鹿児島）

希望の党が公認発表した小選挙区（北海道～京都）



希望の党の衆院選第1次公認候補を発表する（左から）玄葉光一郎元外相、若狭勝・前衆院議員、細野豪志元環境相＝3日午後4時42分、東京・永田町の参院議員会館、飯塚晋一撮影



希望の党の衆院選第1次公認候補者を発表し、記者会見する（右から）細野豪志元環境相、若狭勝・前衆院議員、玄葉光一郎元外相＝3日午後4時3分、東京・永田町の参院議員会館、岩下毅撮影



希望の党の第1次公認候補発表後、記者会見する民進党の前原誠司代表＝3日午後5時29分、東京・永田町の民進党本部、飯塚晋一撮影

記者会見する民進党の前原誠司代表＝3日午後5時29分、東京・永田町の民進党本部、飯塚晋一撮影

3日に発表された新党「希望の党」の衆院選の第1次公認は192人となった。内訳は小選挙区が191人、比例単独は1人で、東北ブロックの民進党前職・寺田学氏。

希望の党側と候補者調整をしてきた民進党の玄葉光一郎氏によると、民進党公認で立候補を予定していた約210人のうち、今回希望の党から公認を受けた小選挙区の立候補予定者は109人。玄葉氏は記者会見で、「できるだけ多くの方々に公認の中に入れてもらいたいという思いで調整してきた」と述べた。

一方、朝日新聞の取材によると、民進党と希望の党の「合流」によって、公認内定の顔ぶれが変わったのは、49選挙区。関東に集中している。これらの選挙区で希望の党公認から漏れた人たちは、無所属や新党「立憲民主党」からの立候補も検討している。

希望の党 衆院選の第1次公認は192人

NHK10月3日 16時10分

希望の党は、衆議院選挙の第1次公認候補として、小選挙

区で191人、比例代表単独で1人の合わせて192人の擁立を決定しました。民進党出身者については、110人を公認したと発表しました。

東京都の小池知事が代表を務める希望の党は、3日午後、若狭勝氏らが、民進党を代表して公認調整にあたった玄葉元外務大臣とともに記者会見し、1週間後に公示される衆議院選挙の第1次公認候補を発表しました。

それによりますと、小選挙区に191人、比例代表単独で1人の、合わせて192人を擁立するとしています。

また、民進党出身者は、前の衆議院議員や新人など合わせて110人を公認したと発表しました。

また、3日の第1次公認では、民進党出身者のうち、無所属で立候補する意向を表明した、野田前総理大臣、岡田元代表、安住元財務大臣、江田前代表代行の選挙区には、候補者を擁立していない一方、立憲民主党の枝野代表や、菅元総理大臣、長妻元厚生労働大臣のほか、立憲民主党に参加する意向を明らかにしている、菅元総理大臣や赤松元衆議院副議長の選挙区には対立候補を擁立しています。

若狭氏は、記者会見で「今後も公認を発表する予定で、過半数の233を超えるような数になるのではないかと。政権交代を目指すことが十分、可能な状況になってきており、希望の党で一致団結し、選挙戦を戦っていく」と述べました。

また、玄葉氏は「民進党からできるだけ多く、公認に入ってもらいたいという思いで調整してきた。作業は難航したが、政権交代可能な受け皿を作り上げるため、苦渋の思いでまとめさせてもらった」と述べました。

民進 前原代表「自公に対じできる人員を整えたい」

民進党の前原代表は党本部で記者団に対し「しっかりと二大政党制の一翼として、自公に対じできる人員を整えていきたい。わが党の仲間にできるかぎり出てもらえるよう、引き続き努力したい。政治は結果であり、『前原がやろうとしていたことは、こういう結果をもたらした』と思ってもらえるように頑張りたい」と述べました。

一方、前原氏は、民進党が希望の党と立憲民主党に分裂したことについて、「立憲民主党の枝野代表とは、24年間、すべて同じ党で過ごしてきたので、きのう『残念だ』と話したが、みずからの考えにこだわりながらやる人が出てくるのは想定内だ」と述べました。

立憲民主党 枝野代表「民進出身者に対立候補立てず」

立憲民主党の枝野代表は、東京都内で記者団に対し「この前まで同じ民進党で活動していた、前の衆議院議員や公認候補予定者は、悩んだ中、それぞれの責任で政治選択をしたと思う。民進党にいた仲間が立候補する選挙区には、立憲民主党の対立候補を擁立するつもりはない」と述べました。

辻元清美氏「女性政治家として切磋琢磨」小池氏に言及



辻元清美・民進党幹事長代行

■辻元清美・民進党幹事長代行（発言録）

（自身が参加する新党「立憲民主党」の結党で、党が分裂する事態に）非常に残念な面と、選択肢がクリアになって有権者に選んでいただきやすくなったのかな、という両面を感じている。私たちは、排除や対立ではなく、包摂や対話を大切にする政治姿勢で、立憲民主党を運営していきたい。

（希望の党代表の小池百合子氏について）力を持っている女性政治家の一人。歩む道は違うが、今回は「安倍一強」に象徴されるような一つの大きな勢力が政治を独占することがないように戦う選挙。（小池氏とは）連携できるところは連携すればいいし、主張の違うところは主張しながら、切磋琢磨（せっさたくま）、今後も女性政治家同士としてやっていければいいと思っている。（大阪府高槻市での記者会見で）

民進 辻元氏 「立憲民主党」から衆院選立候補へ

NHK10月3日 13時37分

民進党の辻元清美幹事長代行は、大阪・高槻市で記者会見し、今回の衆議院選挙では、新党「立憲民主党」から立候補する考えを明らかにしました。

衆議院選挙をめぐって、希望の党と日本維新の会は、東京と大阪で選挙協力を行う方向で調整していて、日本維新の会が拠点とする大阪府内の小選挙区から、民進党出身の候補者が希望の党の公認で立候補するのは難しい状況になっています。

こうした中、民進党の辻元清美幹事長代行は3日、大阪・高槻市で記者会見し、今回の衆議院選挙への対応について、「きのう、枝野元官房長官から、新党参加の強い要請があった。分断や排除ではなく、包摂や対話を大切にする政治姿勢で立憲民主党を運営したい」と述べ、枝野氏らが結成した新党「立憲民主党」から立候補する考えを明らかにしました。

希望から「失望を通り越して絶望です」愛知1区の吉田氏

朝日新聞デジタル 2017 年 10 月 3 日 21 時 09 分

「失望を通り越して、絶望も絶望ですよ」。愛知1区に立候補を予定し、希望の公認を求めている元職吉田統彦氏（42）は3日、記者会見で不満をぶちまけた。

前回、自民候補に2万3千票余の差で敗れた。再起をかけ、毎日のように街頭や居酒屋で運動してきた。前原誠司

代表の希望合流論に一度は期待した。



街頭演説をする

吉田統彦氏＝名古屋市東区

だが、1区の公認を得たのは地域政党・減税日本の元職佐藤夕子・名古屋市議（54）だった。希望が、水面下で接触を続けていた河村たかし名古屋市長（減税代表）との関係を重視した結果だった。

立憲民主党の長妻昭氏から勧誘され、「左派ではなく中道と確認した」。吉田氏は1区に同党から立候補する決意を語った。

「税金の無駄遣いをやめて市民に還元すると言っている政党が（出馬によって）市議補選。市長流に言えば、どえりゃ無駄遣いですよね」と、憤りが収まらない様子だった。

河村氏も同日、希望の公認を得た佐藤氏ら減税の同市議2人と会見した。「そらうれしい。訴えてきた『納税者のための政治』を希望の党の中で言える」と喜んだ。数日前までは自派候補の擁立のめどが立っていなかったが、「女性2人で、小池百合子都知事は喜んでいと思う」。笑顔で希望との連携を強調した。

愛知1区には、自民前職の熊田裕通氏、共産新顔の大野宙光氏、社民新顔の平山良平氏も立候補を予定している。

民進の近藤副代表、立憲民主党から出馬へ 愛知3区

朝日新聞デジタル 2017 年 10 月 3 日 11 時 04 分



街頭演説で立憲民主党への参加を明ら

かにした民進党の近藤昭一氏＝3日午前8時15分、名古屋市

民進党の近藤昭一副代表は3日午前、名古屋市内での街頭演説で「立憲民主党と一緒に頑張りたい」と述べ、衆院選の愛知3区に民進の枝野幸男代表代行が作った新党「立

憲民主党」から立候補する意向を明らかにした。

近藤氏は演説で「問われるべきは立憲主義、民主主義を壊している政権にストップをかけることだ」と述べた。その後「希望はリベラルを壊すかのような選別をして、そこに対立候補を擁立しようとしている。ならば、こちらも政党と一緒に作って、頑張らなければならない」と記者団に語った。

愛知3区には自民前職の池田佳隆氏が立候補を予定するほか、希望も候補者を擁立する方針。

山内氏、希望に公認されず枝野新党で出馬へ 福岡3区

朝日新聞デジタル 2017年10月3日 12時56分

民進党元職の山内康一氏（44）は3日、同党の枝野幸男代表代行が立ち上げた新党「立憲民主党」で、福岡3区から立候補すると表明した。公認を求めている希望の党から「選別」され、公認しない方針を伝えられていた。

山内氏は会見で「（民進党）代表選で枝野さんを応援したから選別されたと思うので、新党に参加するのは自然な判断だ」と強調した。山内氏は当選3回。2005年に自民党から神奈川9区で初当選し、その後、みんなの党、民進と移った。

脱・希望続々…三重の民進前職2人が一転、無所属へ

朝日新聞デジタル 堀川勝元、田中翔人 2017年10月3日 14時00分



三重2区に無所属で立候補する意向を明らかにした民進前職の中川正春氏＝津市

衆院選の三重2区に希望の党から立候補する意向を表明していた三重2区の民進前職中川正春・元文部科学相は3日、一転して無所属で立候補する方針を明らかにした。三重1区の民進前職松田直久氏も同日、無所属で立候補する方針を表明した。

中川氏は三重県庁で記者会見し、2日夜に届いた希望の党の政策協定書を見て、無所属での出馬を即決したと説明した。「政策と同時に、一連の過程の中でどうも排他主義的。いま必要なのは包み込みながら、みんなが一緒にやっという形で理解してもらおうこと。トータルで見て世界観が違ふことがはっきりした」と述べた。

松田氏は午前7時半から津市内での街頭演説で「今朝まで一睡もせずに考えて無所属で今回の選挙に臨む覚悟を決めた」と宣言。その後、県庁で記者会見し「希望の党に行

くには、いろんな意味でやり方において少し私とは違うのかなという感じを持った。政策以前のプロセスの考えが違った」と語った。（堀川勝元、田中翔人）

舌戦・衆院選（3日）【17衆院選】

◇小池氏は「暴走仲間」

共産党・志位和夫委員長（党本部での中央委員会総会で）安倍暴走政治と対決する論戦ができるのは共産党と共闘勢力だ。希望の党は「リセット」と抽象的に唱えることができて、暴走政治の批判は決してできないだろう。小池百合子代表自身が自民党政治の中核にいて、安倍晋三首相とともに暴走政治を進めてきた暴走仲間だからだ。

◇立憲民主は「第2社民党」

日本維新の会・松井一郎代表（大阪府庁で記者団に）立憲民主党は、民進党の中の「憲法は絶対に一言一句変えるべきではない」「日米同盟はいかなるものか」と考える人たちの集まりだ。参加する辻元清美氏は元社民党員だ。立憲民主党は第2社民党ということだ。

◇今の自民は保守か

立憲民主党・枝野幸男代表（東京・JR有楽町駅前で行った街頭演説）今の自民党は保守なのか。1億総中流と言われ、世界一治安が良いと言われ、お隣近所、地域社会がお互いさまに支え合っていた日本社会を壊してきたのは誰か。日本社会の良き伝統を壊している保守なんかあるはずがない。（時事通信 2017/10/03-20:22）

「安倍政権をサポート」＝中野正志日本のこころ代表【各党インタビュー】



インタビューに答える日本のこころの中野正志代表＝3日午後、東京・永田町

日本のこころの中野正志代表は3日、時事通信のインタビューに応じ、安倍政権を支える姿勢を強調した。主なやりとりは次の通り。

一衆院選での立ち位置は。

参院で自民党と統一会派を組み、安倍政権をサポートしてきた。衆院でも議席が得られれば、自民党と統一会派を組みたい。野党の混乱を見れば国民も「首相は安倍晋三さんでないと駄目だ」と理解してくれるはずだ。私たちは自

主憲法制定を訴えてきた。自民党公約にも憲法改正が入っているの、できるだけ早く憲法改正を仕上げたい。

―選挙戦の戦い方は。

インターネットを含めたメディア中心の選挙にならざるを得ない。

―中山恭子前代表が希望の党に移った。

正直言って非常に脱力した。ただ、今日の政局の理解の違いで別れたからやむなしだ。希望の党が憲法改正や安全保障法制への賛成を公認の条件にしたことについては、中山さんが小池百合子希望の党代表に進言したと聞いている。日本のこころの精神が生かされるなら幸いだ。

―民進党の希望合流の動きをどう見るか。

「安全保障法制は憲法違反だ」と言った政治家が安保と憲法問題で180度姿勢を変えて入党するのはどう考えてもおかしい。政治姿勢、政治家としての根本の理念を捨て去るのは信じがたい。

―衆院選で得票率2%以上を獲得しないと政党要件を失う。

覚悟して臨んでいる。国政政党でなくなることもあり得る。しかし、そうなっても政治団体として活動は続ける。国政では今まで通り、自民党と統一会派で臨む。(時事通信 2017/10/03-17:56)

こころ 中野代表 立憲民主党は政策的に相いれず

10月3日 17時32分



日本のこころの中野代表はNHKの取材に対し、新党「立憲民主党」について、憲法改正に反対する勢力であり、政策的に相いれないとしたうえで、衆議院選挙に向け自民党との連携を強化したいという考えを重ねて示しました。

この中で、中野代表は、枝野元官房長官らが結成した新党「立憲民主党」について、「旧社会党の復活みたいなもので、憲法改正に反対する人たちだ。われわれとは全く合わない」と指摘しました。

また中野氏は、希望の党について「本当に、安全保障法制や憲法改正に賛成なのか。180度考え方を变える人たちが保守を名乗って、保守票を取ろうとしていると思わざるを得ず、当選したいがための希望の党だ。3極に分かれるが、本物の保守と、そうでない保守を、国民にしっかり見つけてほしい」と述べました。

そのうえで、中野氏は「自民党と理念・政策はおおむね同

じだから、一緒になって戦いたい。やはり安倍政権でないと、外交的にも内政的にもやっていけない」と述べ、衆議院選挙に向け自民党との連携を強化したいという考えを重ねて示しました。

「立憲民主党は第2社民党」 維新・松井代表

朝日新聞デジタル 2017年10月3日 13時58分



松井一郎・日本維新の会代表

■松井一郎・日本維新の会代表（発言録）

（民進党が分裂し、新党「立憲民主党」が設立されたことに）民進党はそういう政党だったということ。考え方も違う人たちが選挙互助会として寄り集まっていただけだ。社民党と共産党と一緒になればいいんじゃないか。ほとんど考え方は変わらないんだから。

何とか藁（わら）をもつかむ気持ちなんだろう。（新党に参加する民進幹事長代行の）辻元（清美）さんはそもそも元社民党。立憲民主党というのは、第2社民党だ。今回一番よくわかったのは、議員と言われる人たちの7割くらいがバッジをつけるのがゴールで、その後は「野となれ、山となれ」の感じかなと思う。（大阪府庁で記者団に）

松井大阪府知事 “選挙目当て” 立憲民主党を批判

NHK10月3日 14時53分

日本維新の会の代表を務める大阪府の松井知事は、枝野元官房長官らが新党「立憲民主党」を結成したことについて、

「議員たちはバッジをつけることがゴールだということがわかった」と述べ、選挙目当てだと批判しました。

枝野元官房長官らは、希望の党とは理念や政策の方向性が異なるとして、新党「立憲民主党」を結成し、3日、総務大臣宛てに設立の届け出を行いました。

こうした動きについて、日本維新の会の代表を務める大阪府の松井知事は大阪府庁で記者団に対し「わらにもすがる気持ちなのだろう。議員たちは、バッジをつけることがゴールだということがよくわかった。新党の立ち上げも自分たちの影響力を残したいという程度のことだ」と述べ、選挙目当てだと批判しました。

また、民進党の辻元幹事長代行が3日、地元の大阪・高槻市で記者会見し立憲民主党への参加を表明したことに関連して、「特に辻元氏は元社民党なので、立憲民主党は第2社民党だ」と述べました。

公明 山口代表「安保法反対では国民守れず」

NHK10月3日 14時49分



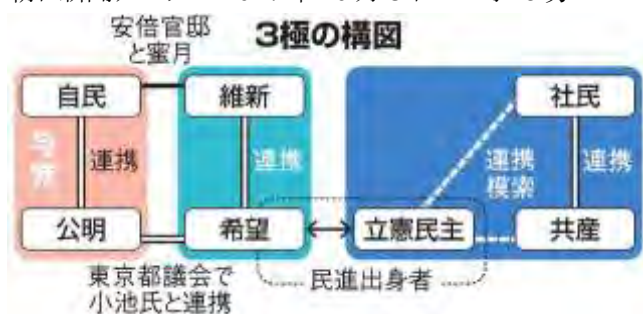
公明党の山口代表は横浜市で街頭演説し、枝野元官房長官らが結成した新党「立憲民主党」について、安全保障関連法に反対するだけでは北朝鮮の脅威から国民を守ることができず、無責任だと批判し、自民・公明両党の連立政権への支持を訴えました。

山口代表は、枝野元官房長官らが結成した新党「立憲民主党」について、「平和安全法制に対して、『憲法違反だから反対だ』と叫んだ人が中心だ。しかし今、平和安全法制があればこそ、北朝鮮の脅威に対応し、国民の命と暮らしを守ることができるようになった。『反対だ』と叫ぶだけで、どうやって私たちの命や財産を守るのかの答えが全くなく、無責任な旅立ちだ」と批判しました。

また、山口氏は、希望の党についても、「かつて政権を取りながら失敗した人たちが、名前を変えて希望の党から出るからと言って、全く期待できるはずがない。仮面をかぶって登場するようなもので、これからの日本を任せるわけにはいかない」と批判し、自民・公明両党の連立政権への支持を訴えました。

自公×希望維新×立憲民主共産社民 衆院選3極争う構図

朝日新聞デジタル 2017年10月3日 21時49分



3極の構図

衆院選公示を1週間後に控え、小池百合子・東京都知事が率いる新党「希望の党」は3日、民進党からの合流組を含む計192人の第1次公認を発表。希望の党から排除された枝野幸男元官房長官らでつくる新党「立憲民主党」も同日、新党設立を届け出た。これにより「自民・公明」「希望の党・日本維新の会」「立憲民主・共産・社民」の3極が争う構図が固まった。

希望の党は政権交代を掲げて衆院定数の過半数(233)

の擁立をめざしているが、小池氏は3日、鹿児島県庁で記者団に対し、自身の衆院選出馬について「100%ない」と強く否定した。衆院選は、安倍晋三首相の5年間の政権運営の是非を問う選挙となる。首相がめざす憲法改正へのスタンスも論戦の焦点となりそうだ。

希望の党の1次公認には、小選挙区で109人の民進出身者と自由党の3人が入り、立憲民主党に参加する民進出身者の選挙区には対立候補を立てた。一方、選挙協力を行う維新の公認候補が立候補する大阪府内などの選挙区、無所属での出馬を表明した野田佳彦前首相や岡田克也元民進代表、自由党の小沢一郎代表と玉城デニー幹事長の選挙区では、擁立を見送った。公明候補の選挙区にも擁立しない方向だ。

希望の党は公認にあたり、民進が憲法違反として廃止を訴えてきた安全保障法制を前提に、「現実的な安全保障政策を支持する」とし、憲法改正への支持も明記した「協定書」への同意を求めた。

自民は首相の方針に沿い、憲法に自衛隊を明記することを含む具体的な項目を公約に初めて掲げ、希望の党と選挙協力をする維新も公約に9条改正を明記している。菅義偉官房長官は3日の記者会見で、憲法改正をめぐって希望の党と連携する可能性を問われ、「政策を実現していくことが極めて重要だ。掲げる政策に賛同頂くのであれば、しっかり対応していく」と前向きな姿勢を示した。

これに対し、立憲民主党は、希望の党の協定書に応じなかった立候補予定者が参加する。枝野氏は憲法論議を進めるとしながらも、首相が提案した自衛隊の明記には「違憲部分を含む安保法制を前提にしたもので許されない」と主張。3日には、野党共闘を呼びかけてきた市民連合から安保法制の白紙撤回などの政策要望を受け、「実現できるようにしたい」と応じた。

共産と社民も憲法改正反対と安保法制廃止で一致。共産は同日、枝野氏が立候補を予定する埼玉5区の候補者を取り下げた。

小沢一郎氏、無所属で出馬＝自由は公認立てず【17衆院選】

自由党の小沢一郎代表は3日、東京都内で記者会見し、衆院選に無所属で立候補すると表明した。地盤の岩手県内の区割り定数減で変更されたため、新岩手3区からの出馬となる。玉城デニー幹事長とともに同党の前職2人は無所属で出馬する。

石破氏、保守二大政党に期待＝「小池氏と考えに差ない」

小沢氏は「安倍政権と対峙(たいじ)し、政権交代を実現する」と強調。「私は野党結集を言い続けてきた」として、自身は希望の党と立憲民主党のいずれにも加わらない考えを示した。自由党は当面存続させるが、今回の衆院選で「党として公認候補は出さない」と述べた。同党立候補予定者

の元職・新人の一部は希望から出馬する。

これに関し、民進党の前原誠司代表は記者団に「(小沢氏とは) 連携を取っており、希望の党は(新岩手3区に) 候補を出さないことも確認している」と明かした。

一方、希望の小池百合子代表が衆院選出馬を否定していることについて、小沢氏は「できればきちんと国民の前に自ら立って訴えるのが自然だ」と述べ、出馬が望ましいとの認識を示した。(時事通信 2017/10/03-20:43)

音喜多駿都議ら都民ファ離党へ 幹部「この時期に最悪」 朝日新聞デジタル 2017 年 10 月 3 日 19 時 39 分

小池百合子・東京都知事(希望の党代表)が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」所属の上田令子、音喜多駿の両都議＝いずれも2期目＝が、同会から離党する意向を固めたことが3日、わかった。小池氏らによる党運営への反発などが理由といい、5日にも離党届を出す。希望の党を率いて衆院選に臨む小池氏にとって、身内から水を差される形になりそうだ。小池氏は3日、記者団に2人の離党について「聞いていない」と答えた。

同会都議の離党の動きは1月の結党以降、初めて。両都議は、小池氏が9月、小池氏元秘書の荒木千陽(ちはる)都議を同会の新代表に選ぶ際、小池氏ら役員3人だけで決めたことなどを問題視した。音喜多氏は3日、取材に「内部で情報統制され、自由に議論できなかった。知事が都政に専念せず、国政に乗り出したことも残念」と話した。上田氏も「知事の改革姿勢は支援したいが、内部で自由に質疑できなかった」とした。

同会の小山有彦幹事長代理は3日、記者団に「足元の揺らぎというか、そういう議員が出たことは残念」と話した。別の幹部は「これから衆院選で希望の党を支援しようという時期に、最悪だ」と憤った。

同会は1月に地域政党として活動を始めた。当初の都議団メンバーは、昨夏の知事選で小池氏を支援した上田、音喜多両氏ら3人だった。小池氏が会の代表に就いた7月の都議選で55議席を獲得、最大会派に躍進した。

政局混乱、都民ファも困惑「全力支援、何をすれば…」

朝日新聞デジタル 2017 年 10 月 3 日 13 時 49 分

小池百合子・東京都知事が希望の党を立ち上げたことで、都議会の議員たちが揺れている。自民党では異例の会期延長論も浮上。知事与党の公明党は小池氏との間合いに苦心する。小池氏が事実上率いる最大会派の都民ファーストの会でも困惑の声があがる。

「全力で希望の党を支えるしかないが、何をすればいいのか……」。7月の都議選(定数127)で55議席を獲得した都民ファーストの都議は語る。同会幹部からは「みんな新党の応援を」と指示が出たが、そもそも同会都議55人のうち、25人は議員経験がなかった。多くが7月の

都議選で「風」に頼った選挙だったため、支援する力は弱い。

都民ファーストには、分裂した民進からの移籍組が13人いる。国政政党の希望ができたことで、この衆院選で、移籍組は地元で長年活動を共にした前職らと敵対することもあり得る。元民進の都議は「状況を受け入れるしかないが、複雑な思い」と言葉少なだ。

民進に残った都議も複雑だ。都議選では、都民ファーストに移る者が相次ぎ、わずか5議席の少数会派に転落。衆院選を前に希望への「合流」「分裂」で衆院の前職がいなくなる事態に陥った。会派関係者は「今は流れを見守るしかない」。

一方、自民は9月26日の本会…

核廃絶へ署名515万4866筆 国連に提出へ

朝日新聞デジタル清水大輔 2017 年 10 月 3 日 10 時 37 分



すべての国に核兵器禁止

条約の締結を求める署名が515万筆を超えたと発表する田中熙巳・日本被団協代表委員(左)＝29日、東京都港区



ヒバクシャ国際署名51

5万4866筆に

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)などをつくる市民団体「ヒバクシャ国際署名連絡会」は9月29日、都内で会見し、すべての国に核兵器禁止条約の締結を求める署名が515万4866筆に達したと発表した。10月初めにも軍縮などを担当する国連総会第1委員会に提出するという。

署名活動は昨年4月に始め、前回集計数を発表した6月9日時点では約296万筆だった。条約は7月に採択され、すでに50カ国が署名。早ければ来年中にも発効する見通しだ。

こうした流れを受け、少なくとも42の国と地域の人たちのほか、国内18府県の知事が署名したという。日本被団協の田中熙巳(てるみ)代表委員(85)は「核兵器保有国に条約参加を迫る上での後押しになる。今後さらなる

広がりを目指したい」と話した。(清水大輔)

辺野古工事を続行＝県の指導に従わずー小野寺防衛相

小野寺五典防衛相は3日の記者会見で、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)移設先の名護市辺野古でサンゴが確認された問題で、埋め立て工事の停止を求めた県の行政指導に従わず、工事を続行する方針を示した。

小野寺氏は「引き続き作業の安全に十分留意した上で、関連法令に基づき、自然環境や住民の生活環境に最大限配慮し、移設に向けた工事を進めていく」と語った。

これに対し名護市の稲嶺進市長は、同日の会見で「これまで異物を海底に沈めてきたので、(サンゴが)影響を受けるのは当然に予想される。調査のため工事を止めるべきだ」と訴えた。(時事通信 2017/10/03-16:36)

オスプレイ緊急着陸で抗議＝相次ぐトラブル「納得できず」 ー富川沖縄副知事



沖縄県石垣市の新石垣空港に米海兵隊の輸送機オスプレイが緊急着陸した問題で、外務省の川田司沖縄担当大使(中央)に抗議の文書を手渡す富川盛武副知事(左)＝2日午後、同県庁

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)所属の輸送機オスプレイ2機が新石垣空港(石垣市)に緊急着陸した問題で、同県の富川盛武副知事は2日、外務省の川田司沖縄担当大使らを県庁に呼び、抗議した。

富川氏は原因究明までの飛行停止を要求し、「事故率が低いと説明を受けていたが、最近の状況に県民は納得できない」と批判。川田氏は「(在沖米軍トップの)ニコルソン四軍調整官にメンテナンスをしっかりと行うよう申し入れた」と説明した。(時事通信 2017/10/02-20:14)

学術会議 会長に軍事研究慎重派 山極京大学長「検討委早期に」

東京新聞 2017年10月3日 朝刊

日本の科学者を代表する機関である日本学術会議は2日、東京都内で総会を開き、新会長に京都大の山極寿一(やまぎわじゅいち)学長を選出した。任期は2日から2020年9月末まで。前任の大西隆氏(豊橋技術科学大学長)は、学術会議がそれまで否定してきた軍事研究について、自衛目的なら認めるとの姿勢を示していたが、山極氏は対照的に慎重な立場を取ってきた。(望月衣塑子)

学術会議は一九五〇、六七年に「軍事研究は行わない」との声明を決議。これに対し大西氏は昨年四月、「自衛隊に好意的な(国民の)意見が90%を超えている。自衛目的にかなう研究を大学等が行うことは許容されるべきではないか」と発言した。

学術会議は発言を受け、大学などで行う軍事応用が可能な基礎研究を助成する防衛省の公募制度などについて、検討する委員会を設置した。委員会が今年三月に決定した声明は、軍事研究を否定する過去の声明を継承するとし、防衛省の制度についても「研究への政府の介入が著しく、問題が多い」と警鐘を鳴らした。しかし、助成への応募禁止は盛り込まなかった。

山極氏は、大西氏の昨年四月の発言の際に「自衛隊の活動全般にわたって国民の総意は得られていない。過去の学術会議の声明を変えることのないような文言を考えていただきたい」と反論。委員会でも「日本の大学が国際化を求められる中で、軍事研究を大学が行うことは、国際化の流れと逆行することになるのではないかなどと述べていた。

複数の学術会議関係者によると、会議内では「軍事と一線を画す科学者の立場を明確にするためにも、新会長は軍学共同に慎重な姿勢を持つ人物を置くべきだ」などとの声が上がっていたという。

山極氏は五二年生まれ。アフリカ各地でのゴリラの研究で知られ、二〇一四年から京都大学長を務めている。



山極氏はこの日、報道陣の取材に「学術の軍事に対する距離の置き方を検討する常設の委員会をなるべく早く立ち上げたい」との意向を示した。

「ナチスが最も畏れた」検事長の評伝に脚光 没後半世紀 朝日新聞デジタル小川崇 2017年10月3日 16時27分



7月に刊行

された評伝

ナチスの戦争犯罪を追及したドイツの法律家が今年、映画や書籍で取り上げられ、話題になっている。ホロコースト(ユダヤ人虐殺)があった強制収容所の幹部らに対する裁判を主導した西ドイツヘッセン州の検事長、フリッツ・バウアー(1903～68)だ。

ユダヤ系の家庭に生まれた。ナチスの迫害を受けて海外に逃れ、戦後に帰国。強制収容所での残虐行為をドイツ国民として裁いた「アウシュビッツ裁判」（63～65年）を牽引（けんいん）したが、裁判後に「過去の克服に対する嫌悪感が広がっている」と友人宛ての手紙に記したように、死後はあまり注目されなかった。

ところが今年に入り、バウアーの実話をもとにしたドイツ映画「アイヒマンを追え！ ナチスがもっとも畏れた男」が日本でも公開された。バウアーはユダヤ人を強制収容所に送る責任者だったアドルフ・アイヒマンの潜伏情報を調べ、妨害を受けながらも身柄拘束に貢献。アイヒマンはイスラエルで裁判にかけられ、死刑となった——。そんな足跡を描いた。

さらに今夏、評伝（2013年）の翻訳「フリッツ・バウアー アイヒマンを追いつめた検事長」が刊行された。バウアーが再び脚光を浴びている背景には、極右勢力伸長に対するドイツ国内の反動があるとみられる。

評伝を翻訳した立命館大学の本…